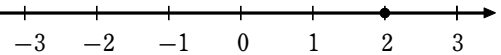


右下の数直線を見てください。2を表す位置に点があります。
この点から3だけ左の位置にある点を
数直線上に記してみましょう。



- 1 次の空らんにあてはまる数やことばを入れなさい。
- (1) 「北へ -5 m 進む」は「南へ m 進む」と同じ

(2) 「弟は兄より -8 cm 背が高い」は「弟は兄より 8 cm 背が 」と同じ

(3) 「前回の試験より 5 点下がった」は「前回の試験より 点上がった」と同じ

(4) 「7 より -2 だけ大きい」は「7 より 2 だけ 」と同じ

まとめ

負の数は反対の意味を表します。

- 2 次の数を答えなさい。
- (1) 0 より 7 大きい数

(2) 0 より 4 小さい数

(3) 5 より 3 大きい数

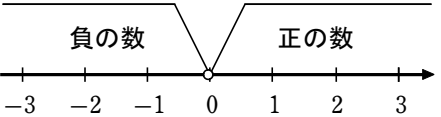
(4) 2 より 5 小さい数

(5) -10 より 6 大きい数

(6) -1 より 8 小さい数

まとめ

0 より大きい数を ,
0 より小さい数を といいます。
0 はどちらでもありません。



3 (正の数、負の数のたし算、ひき算) [教科書 p.8 例 1]

(1) $2+(-3)=2-\text{□}=\text{□}$

(2) $2-(-3.5)=2+\text{□}=\text{□}$

$-(-3.5)=+3.5$ です。
つまり、「 -3.5 をひく」は、
「 3.5 をたす」と同じです。

4 次の計算をしなさい。 [教科書 p.8 練習 1]

(1) $5+(-7)$

(2) $1-(-2)$

(3) $-3+6$

(4) $-5-(-5)$

(5) $4+(-1.3)$

(6) $8-(-6.2)$

▶ 正の数、負の数のかけ算では、符号 $+$ 、 $-$ に注意しましょう。

$(+)\times(+)=(+),$
 $(+)\times(-)=(-),$

$(-)\times(-)=(+)$
 $(-)\times(+)=(-)$

← 同じ 符号の 2 数の積は正
異なる符号の 2 数の積は負

5 (正の数、負の数のかけ算) [教科書 p.9 例 2]

(1) $(-3)\times 4=\text{□}$

(2) $(-3)\times(-4)=\text{□}$

6 次の計算をしなさい。 [教科書 p.7 練習 2]

(1) $(-5)\times 3$

(2) $2\times(-4)$

(3) $(-2)\times(-4)$

7 次の計算をなさい。

(1) $(-1) \times 1 = \square$

(2) $(-1) \times (-1) = \square$

(3) $(-1) \times (-1) \times (-1) = \square$

(4) $(-1) \times (-1) \times (-1) \times (-1) = \square$

まとめ

負の数を奇数個かけると $-$

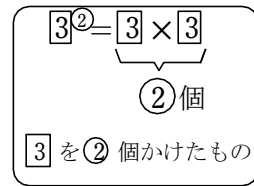
負の数を偶数個かけると $+$

▶ $2 \times 2 \times 2 = 2^3$ のように、同じ数を何個かかけたものは、 2^3 は「2 の 3 乗」と読みます。累乗の形で表します。

8 (累乗の計算)

(1) $3^2 = 3 \times 3 = \square$

(2) $(-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) = \square$



[教科書 p.9 例 3]

9 次の計算をなさい。

(1) 4^3

(2) $(-6)^2$

[教科書 p.9 練習 3]

(3) $(-1)^5$

▶ 分数の計算は、次のようにします。

- ① 分母の異なる場合のたし算、ひき算は、通分してから行う。
- ② かけ算は、分母どうし、分子どうしをかける。
- ③ わり算は、わる数の分母と分子を逆にしてかける。

10 (分数の計算)

[教科書 p.9 例 4]

(1) $\frac{1}{3} + \frac{7}{6} = \frac{1 \times \square}{3 \times \square} + \frac{7}{6} = \frac{\square}{6} + \frac{7}{6}$

← 3 と 6 の最小公倍数 6 が分母になるように通分します。

$= \frac{\square}{6} + \frac{\square}{6} = \frac{\square}{6} = \square$

(2) $\frac{1}{2} \times \frac{8}{3} = \frac{1 \times 8}{2 \times 3} = \square$

← 約分できるときは、必ず約分します。

(3) $\frac{1}{2} \div \frac{3}{5} = \frac{1}{2} \times \square = \frac{1 \times \square}{2 \times \square} = \square$

11 次の計算をなさい。

[教科書 p.9 練習 4]

(1) $\frac{1}{4} + \frac{5}{4}$

(2) $\frac{1}{2} + \frac{3}{8}$

(3) $\frac{1}{4} - \frac{1}{6}$

(4) $3 - \frac{2}{5}$

(5) $\frac{1}{3} \times \frac{5}{6}$

(6) $\frac{3}{8} \times \frac{2}{3}$

(7) $\frac{3}{7} \div \frac{6}{7}$

(8) $\frac{1}{3} \div \frac{5}{6}$

振り返り

① どのような内容を学習しましたか。

● $(+) \times (+) = (+)$, $(-) \times (-) = (\square)$

$(+) \times (-) = (-)$, $(-) \times (+) = (\square)$

● 分数の計算では

分母の異なる場合のたし算、ひき算は、通分してから行う。

かけ算は、分母どうし、分子どうしをかける。

わり算は、わる数の分母と分子を \square にしてかける。

② 目標は達成できましたか。

できた

まあまあ

あまりできなかった